



2004年11月21日

日本共産党  
北茨城市委員会  
磯原町豊田1030-2  
43-0468(福田)  
42-2462(鈴木)

# 少数意見の尊重つらぬき議会改革

## —— 小金井市議会 ——

十一月一日、県北地域の日本共産党の議員六名で、東京都の小金井市と調布市を視察してきました。

このうち小金井市の視察の目的は「議会改革」についてです。小金井市議会は共産党市議団が四名で第一党。日本共産党の森戸洋子議員が市議会議長を務めており、全国で二一名いる女性議長では最も若い四八才です。

### 議会改革と図書館運営

小金井市の議会改革は約三年前から始まり、六七項目の具体的な調査項目を決定して検討してきました。その際、全会派一致で結論を得たものだけを実施すると確認しました。小金井市議会(定数二四名)は一名でも会派が認められ、実に一一会派が存在します。仮に一名でも反対すれば、その項目は実施しないということです。「小金井市議会の伝統は、あくまで少数意見を尊重することです」と、さわやかに語った森戸議長が印象に残りました。

この改革で実施されたのは四二項目。主なものは、一般質問の対面方式質問や一答一問方式の採用、傍聴人の録音、撮影の許可、休日議会の開催、議長車の廃止、議会専用ホームページの開設などです。また、会議は原則すべて公開しており、各委員会はもちろん、議運や全協も公開されています。請願についても提出者本人

# 東京都 小金井市、調布市を視察



小金井市議会の森戸議長(左端)と共産党の板倉市議団長(手前)。ちなみに森戸議長は、鈴木やす子市議とは学生時代の同窓です。



左から、宇野隆子常陸太田市議、大名美恵子東海村議、根本陽一日立市議、同じく小林真美子市議、そして福田明市議、鈴木やす子市議。

が説明し、会議録に残すなどしています。

懇談の中で、共産党小金井市議団の板倉団長は、「小金井の議員は他会派を含めて、議員ハッチは誰も付けていない。権威者ぶっていると住民に嫌がられるんです。議会への服装も、セーターでもジーンズでもすべてOK。党のベテラン議員のネクタイ姿など一度も見たことがない」と笑いながら語っていました。小金井市議会の平均年齢は四九才、女性議員が九人います。

徹底的に民主主義をつらぬく議会という印象を受けながら、帰りの電車の中で、ジャンパー姿で質問している自分の姿を連想してしまいました。(福田記)

## 地域文化の拠点として

### —— 調布市立図書館 ——

東京都調布市の中央図書館では、主に学校図書館との連携についてお話しをうかがいました。

市立中央図書館が、小学校に対する読書の「動機づけ指導」をはじめたのは三五年前にさかのぼります。その働きかけをすすめながら、小学校単位半径ほぼ八〇〇メートル圏内で分館建設を進め、中央図書館とあわせて一一カ所の図書館活動のネットワークができあがりました。その後も、学級単位での団体貸し出しをしたり、また二〇〇二、〇三年度で小・中学校すべてに図書が配置され、連携や活動が密になってきているとのことでした。現在、中央図書館は夜の八時半まで開館し、休みは月二回です。人口一人当たりの蔵書数は五冊、一人当たり貸し出し数は一二・二冊。いずれも、図書館活動が活発な東京三多摩地域にあつて一位を誇ります。

児童への図書サービスの観点から読み聞かせの活動も盛んで、館内ではお母さんたちのグループなど多くの人の姿がありました。またビジネス・仕事支援コーナーを設けるなど、時代の流れにもしつかり即応しています。今後、地元関連の資料をデータベース化し、地域の情報拠点としての役割も強めていくとのことでした。(鈴木記)

## 中越地震救援募金 被災地に

中越地震救援へのご協力ありがとうございます。共産党新潟県委員会に送付させていただきました。引き続きご協力をお願いいたします。

これまで日本共産党の中央委員会や県委員会、地元救援センターに寄せられた救援募金は総額1億円を越え(台風などの災害支援も含む)、災害救助法が適用された各自治体に送られています。

北茨城市当局でも、ロビー、サービスセンター、市立病院で今月いっぱい募集をつづけます。

日本共産党北茨城市議団のHPアドレスが変わります。  
<http://www.jcp-ktib.com/>